

議会と議員のあり方が問われています

1人5万円の「研修」

甲良町議会の2つの常任委員会は11月15・16日の1泊2日にわたり、石川県金沢市と能美市へ合同行政視察研修を行うことを決めました。費用は1人5万円。「甲良町議会常任委員会行政視察研修実施計画」によれば別掲のような概要です。

西澤議員は、次の理由で今回の視察研修には参加しないことを明らかにしました。

16日は嘉田知事と栗東新駅問題をはじめ、中学卒業までの医療無料化の拡充、甲良町内の道路・信号整備など、ムダをなくし、県民の毎日の暮らし・福祉を応援する予算配分を求め面談する日程と重なります。「常任委員会視察研修」の予算が計上されていないながら、研修テーマ・研修先を検討する際に委員会が開かれず、「合同」会議だけで決められたこと。発表された行程は観光コースが主である疑いが強いこと。

甲良町議会常任委員会行政視察研修実施計画より

内容：金沢市（15日）

- (1) 学校教育金沢モデルの推進について
学校2学期制の完全実施
教育特区における小中一貫英語教育の実施
学習指導基準金沢スタンダードによる授業実践

(2) 「金沢子ども条例」「子どもを育む行動計画」について
能美市（16日）

- (1) 能美郡3町が合併に至る経過の中で困難をきたしたことについて
- (2) 能美市になってやがて2年、その評価と課題について
- (3) 新市における福祉行政、とりわけ少子・高齢社会への取組みについて

宿泊：能美市辰口 「たがわ龍泉閣」

行程：15日 甲良町 8.30 彦根IC 8.50 金沢東IC 昼食 11.50～12.40 金沢市役所（研修 13.00～15.00）道の駅 ホテル 17.00

16日 ホテル 9.15 能美市議会（研修 9.30～11.00）小松IC 11.20 鯖江IC 12.00 道の駅 越前町（昼食 13.00～15.00）さかな街 敦賀IC 彦根IC 甲良町 18.00頃

**足元をおろそかにして
何を学び、何を活かすか
行政視察研修について
西澤議員の話し**

先進事例を現地に出向き直接その関係者から学ぶ視察研修は意義のあるものと考えています。しかし、その場合も議員自らの責任を負う足元である議場でしっかりと発言してこそ有効なものです。町民の多くから「議員は議会でしっかりと行政の監視をしているのか」「公開の場でもっと政策論議ができないのか」など疑問や批判の声があがっています。9月議会での一般質問は私ひとりで大変低調なものでした。にもかかわらず「視察研修」だけは「熱心」と言うのでは「税金」を使って何をしにいくのかと更に批判が高まることでしょうか。今回の日程で、2日合わせて現地研修は3時間半。特に16日の研修は1時間半で、あとは観光コースそのものです。「道の駅」が2ヶ所、何の視察の対象なのか不明です。町長、教育長、議会事務局含め計18人の予定ですが、欠席する議員も見込まれ、1人5万円の費用で70万円から90万円の税金支出予定となります。庶民の暮らしが苦しい中、町幹部・議員のあり方が問われるのではないのでしょうか。

「甲良町民一同」さんからの葉書が届きました。全文を紹介します。

* 道の駅施設ありきを拝読しました。愛東マーガレットステーションが成功したからと言って甲良町が同じような施設を作ったって、成功するとは言えません。立派な施設は作って、甲良町も澤山のお金を使って、寄ってくださるお客が少なくなつては何にもなりません。どうぞ頑張ってください。皆さんも同じ考えです。止めてください。中止してください。



甲良民報

2006年11月12日 341号
発行責任：日本共産党甲良町支部
代表：西澤伸明 甲良町在士 463
Tel. Fax 38-4949
Eメール info@jcp-nobuaki.com
のぶあきホームページ
<http://www.jcp-nobuaki.com/>